

教育機関向け遠隔授業・プログラミング支援に関する活用事例

甲州市立 勝沼中学校

●利用機器名

YAMAHA YVC-1000

●機器の活用状況（活用授業・イベント概要など）

遠方にいる担任と教室の生徒を Google Meet でつなぎ学園祭の情報交換のための交流をした。その際、教室での音声を多角的に拾えるようスピーカーフォンセットを利用した。

●機器活用による効果・利点

マイクをつなぐケーブルが長いので、ICT 端末の位置を気にせず話すことができた。マイクの取り回しも容易であった。

●活用イベント・授業における利用者及び、児童・生徒の感想、雰囲気等

スピーカーフォンセットを利用したおかげで学級担任とスムーズに交流することができた。生徒一人一人の音声もしっかりと伝わっていた。生徒はマイクの位置を意識することなく担任に自分たちの意見を伝えていた。

●写真



ICT 端末 (Chromebook) の画面を Chromecast を利用して大型テレビで映した。



ICT 端末 (Chromebook) のカメラで写しつつ、スピーカー・マイクは USB で接続した。

●機器活用における課題・難点

複数機器を使おうとして、ハウリングを起こしてしまった。機器を離し、片方の端末をミュートにした後は問題なく利用できた。

ケーブルでの接続が確実でよい。しかし、コンセント・USB 接続ケーブル・スピーカー接続ケーブルと 3 本の接続が必要で、やや手間である。Bluetooth の接続も試してみたいと思った。